

ステイ・ヘルシー
薬の相互作用を防止しましょう
市販薬を使用する前に



市販薬は、飲む前に必ずラベルを読みましょう。薬の中には、糖尿病や腎臓病、高血圧などの慢性疾患だけではなく、飲食物との相互作用を起こすものがあります。疑問に思ったら、必ず薬剤師に相談しましょう。

高齢者の方が気をつけなければならない薬の相互作用

- 抗ヒスタミン剤、咳・風邪用の製品、または不眠治療薬などを飲んでいるときは、アルコール類を避けましょう。
- 処方された鎮静薬や精神安定剤を飲んでいる場合は、不眠治療薬は使用してはいけません。
- 処方された抗凝血剤を飲んでいたり、糖尿病や痛風の持病がある場合は、アスピリンを含む製品を飲む前に、医師に相談しましょう。
- 腹痛、吐き気、嘔吐がある場合は、緩下剤を使用してはいけません。
- 高血圧やうつ病の治療を受けている場合、または心臓疾患、糖尿病または甲状腺疾患がある場合は、咳・風邪薬やウェイトコントロール薬を使用してはいけません。
- 高血圧やうつ病の処方薬を飲んでいる場合、または心臓疾患、甲状腺疾患、糖尿病または前立腺の問題がある場合は、医師に指示された場合を除き、鼻づまり薬を使用してはいけません。

上記情報は、米国食品医薬品局提供。

ステイ・ヘルシー・プログラムは、カリフォルニア州高齢者福祉局が後援しています。

お住まいの地域における高齢者サービスやプログラムのお問い合わせは1-800-510-2020 TTY 1-800-735-2929へどうぞ。

